

大坂新聞錦画 第十五号

東京神田錦町丁目小唄をかましの  
 味をみるいふ二人りの母久の奉年宿の  
 萬年舟大印とて生來深切なる人なりけり  
 いらぬ前世の約束やうさ房ふまうれて後ハ  
 眼うつまを頼みとてるいふ供入りそれ本娘の  
 不心得首人の長命邪アめあり三度の食事の厄か  
 親小向て悪口難言終ひ秋家をたておする親の泪か

くれぬ目してかめ聞ても  
 服のちつ咄葉出二足の  
 けりの生挿々そ面の皮もたど  
 合目の水おさらしたるや浅きも人面  
 獸心毒の二さすをこつおけりも合点のゆらぬ  
 無論者憎むべしとて歎くはと 讀賣百廿二号二出せり

有トラ  
 奉ら女  
 奉ら女  
 奉ら女

